

2023年度

オレンジリボン支援団体活動報告書

国際ソロプチミスト横手



管理番号

2023年度のオレンジリボン運動活動報告

1. 7月22日、第20回よこての市全国線香花火大会において、秋田県立横手城南高校生徒10人と一緒に児童虐待防止の団扇を配布した。
2. 11月3日、秋晴れのさわやかな天候のもと、午前9時30分から11時頃まで、横手市にある秋田ふるさと村において、横手市子育て支援課、横手警察署、県立横手城南高校生徒、国際ソロプチミスト横手会員合わせて38名の参加により児童虐待防止の活動を実施した。
特に、将来、虐待は絶対にしない大人になってほしいという願いを込めて高校生と一緒に活動を行っているが、高校生からの呼びかけに、笑顔でチラシやマスクを受け取ってくれる方々が多いと感じている。
当日は、約1000人の方々にチラシやマスクの他、DV防止のティッシュやチラシなども合わせて配布した。
3. 11月10日、チャリティーワインパーティーを開催し、参加いただいた200名の参加者にオレンジリボンを付けていただき、児童虐待防止のチラシとマスクを配付した。会場には、児童虐待防止のポスターを貼り、虐待防止ののぼり旗も立てた。また、席上、横手市に対しオレンジリボンステッカー30枚を寄贈し、横手市の児童虐待の状況や子育て支援策などについてお話ししていただいた。
この活動の収益金の一部を、オレンジリボン活動の財源としている。
4. 12月16日から1月14まで、横手市内の保育園、幼稚園の年長児369人の「ぼくとわたしのゆめ」絵画展、「おとなになったらなりたいもの」を秋田ふるさと村において開催した。絵の展示と共に、国際ソロプチミスト横手がオレンジリボン活動に取り組んでいる説明や、ポスター、チラシも展示した。
絵を描いてくれた子ども達に対し、児童虐待防止のチラシとマスクを渡した。この結果、子ども達のご家族にも児童虐待防止の大切さを訴えることが出来た。